

第26回山形県サッカー総合選手権大会

兼第102回天皇杯全日本サッカー選手権大会山形県代表決定戦



実施要項

■ 主催 特定非営利活動法人 山形県サッカー協会

■ 共催 山形新聞・山形放送・共同通信社

■ 協賛 (株) モルテン
(株) ミカサ

■ 主管 山形地区サッカー協会

1. 日程

2022年 3月 6日(日)	1回戦
3月 13日(日)	1回戦
3月 20日(日)	2回戦
3月 27日(日)	2回戦
4月 10日(日)	準決勝
5月 1日(日)	決勝戦

2. 会場 山形市球技場

3. 参加資格及び参加チーム

- (1) 2022年度日本サッカー協会に加盟登録した第1種の単独チームであり、日本サッカー協会認定3級以上の審判員を帯同審判員として登録し、帯同できるチームとする。
- (2) 日本サッカー協会クラブ申請済クラブの同一下部組織第2種以下登録選手に限り、種別変更(移籍)せず第2種以下登録選手のままの出場を認める。

4. 参加人数

- (1) 参加登録選手は30名以内とする。但し、監督が選手を兼ねる場合は、選手登録をしなければならない。参加申込締切り後の選手変更及び規定数(30名)までの選手の追加は認めない。
- (2) 外国籍選手は、1チーム5名までエントリーすることができる。
(同一試合に同時に出場できる選手は3名とする。)

5. 競技規定

- (1) 大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。
- (2) 試合開始70分前までに交替要員7名を含んだメンバー用紙を提出すること。、試合中の選手交代は5名以内とし、交代回数は3回までとする。試合が途切れる回数を減らすため、試合中の交代は各チーム最大3回とする。加えてハーフタイム時にも交代することができる。延長戦においては6人目の交代を行うことができる。
- (3) 退場を命じられた選手及び退席を命じられた役員は、次の公式試合1試合に出場することができない。その後の処置については、大会規律委員会において決定する。また、今大会中に累積で2度の警告を受けた選手は、今大会の次の1試合に出場することができない。
同一試合で2回警告による退場を命じられた選手は、次の公式試合1試合に出場することができない。
- (4) 未登録または二重登録などの不正選手が出場していた場合、それが判明した時点で当該チームを失格とし、相手チームの勝ちとして試合を打ち切る。しかし、既に行われた試合にまで遡って適用しない。この該当チームの懲罰については大会規律・

フェアプレー委員会にて協議の上裁決される。

- (5) 本大会に参加を申し込んだ後の棄権は一切認めない。やむを得ない事情で参加不可能になった場合は直ちに本(協会)大会事務局および相手チームに通知し、本(協会)大会事務局に対して改めて文書にて理由書を提出する。
- (6) メンバー表提出時に、日本サッカー協会発行の選手証(写真貼付済)を提出すること。

6. 競技方法

- (1) 試合は、トーナメント方式とする。
- (2) 試合時間は90分とし、勝敗が決しない場合は、PK方式により次回戦に進出するチームを決定する。但し、決勝戦は、30分間の延長戦を行い、それでも勝敗が決しない場合は、PK方式で優勝チームを決定する。
- (3) ハーフタイムのインターバルは15分(前半終了から後半開始まで)とする。PK方式に入る前のインターバルは3分とする。延長戦に入る前のインターバルは5分とする。
- (4) テクニカルエリアを設置する。
戦術的指示は、テクニカルエリア内から、その都度ただ1人の役員が伝えることができる。必要な場合は通訳の同行が認められる。
- (5) ベンチに入ることができる人数は12名(交替要員7名、役員5名)とする。
- (6) 負傷した競技者の、負傷の程度を確かめるために入場を許される役員の数は2名とする。

最後に変更案を記載

7. ユニフォーム

- (1) 参加申込後のユニフォームの色彩の変更及び背番号の変更は認めない。
- (2) 背番号は必ず、参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。
- (3) ユニフォームに広告を掲示しているチームは、申請書類・承認された書類を提出すること。なお申請していない場合には、そのユニフォームを着用して試合を行うことを認めない。

8. 選手の用具

- (1) 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- (2) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
- (3) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (4) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

9. 参加料

25,000円

10. 参加申込み

- (1) 参加申込みは、JFA KICKOFFの大会エントリーから申し込むこと。
参加料は申し込み期限までに下記口座まで振り込むこと。振込手数料はチーム負担とする。いかなる場合でも、参加料の返金はしない。
- (2) 申し込み期限は、2月28日(月)とする。
※期日が過ぎると大会エントリーが出来なくなるので注意してください。

問い合わせ先

1種委員長 笹村 誠	携帯 : 090-3368-6629
■ 申込み先 : makoto.0420.0@gmail.com	
■ 銀行名 : 山形銀行 陣場支店	
■ 口座番号 : 普通預金 No. 326038	
■ 名義 : 山形地区サッカー協会 一種委員会	
	一種委員長 笹村 誠

※ 振込人欄には**チーム名**を必ず記載すること。

- 1 1. 宿泊申込 今大会については、宿泊及び昼食の斡旋は行わない。各チームで手配すること。
- 1 2. 組合せ 大会事務局で行う。前年度ベスト4チームをシードする。
- 1 3. 監督会議 今大会については、監督会議を行わない。ただし、試合開始70分前に代表者ミーティングを行う。
- 1 4. その他
- (1)大会を開催するにあたり、山形県1種委員会・山形県社会人連盟発行「新型コロナウイルスの影響下におけるチーム遵守事項」に従うこと。
また、健康チェックリストに必要事項を記入し提出すること。
今現在では有観客で行う予定ですがコロナウイルスの感染拡大によっては無観客となる場合もあるので周知徹底して下さい。
 - (2)試合開始70分前に、大会本部において両チームの代表者・審判団・会場運営責任者の出席により代表者ミーティングを開催する。チームの代表者は、その際、メンバー票、選手証、フィールド及びゴールキーパーのユニフォームの正・副を持参し、メンバー票、選手証は提出すること。なお、メンバー票のユニフォーム欄には、記入しないこと。審判団によるユニフォームチェックの結果、大会本部で記入する。このミーティングに出席しなかった場合、連絡無く遅刻した場合は、棄権とする。
 - (3)試合球は主催者側で準備をする。
 - (4)ベンチは、対戦番号の小さいチームがコートから本部を見て右側を利用すること。
 - (5)今大会の準決勝・決勝戦以外は帯同審判制で行う。
3級以上の審判員を登録できないチームは、参加を認めないので、必ず登録（参加申込書に記載）し、試合当日帯同すること。帯同できなかった場合は、試合結果にかかわらず、棄権とする。帯同審判員は、試合開始70分前の代表者ミーティングに連絡無く遅刻した場合も、試合結果にかかわらず棄権とする。
 - (6)決勝においては、参加登録選手の追加は認めるが変更は認めない。但し、同大会に他チームでの登録済み選手の追加は認めない。
 - (7)今大会は、監督会議を実施しないので、要項等についての疑義等は、大会事務局（参加申込先と同じ）まで、問い合わせること。事前に各チームに連絡すべきことが生じた場合は別途通知する。
 - (8)今回、申込期間が短いので注意すること。
 - (9)JFA登録は2/14から始まります。申込期限が2/28です。
各チーム十分に余裕を持って登録、エントリーして下さい。

第26回山形県サッカー総合選手権大会

兼第102回天皇杯全日本サッカー選手権大会山形県代表決定戦

■ 競技上の注意事項

1. メンバー表、選手証の提出
試合開始70分前までに、チームの代表者は、メンバー提出用紙、選手証を会場の大会本部に提出すること。なお、メンバー提出用紙のユニフォーム欄には、記入しないで提出すること。ミーティングで決定後に大会本部で記入する。
2. ミーティング開催とユニフォームチェック
試合開始70分前に、両チームの代表者・審判団・会場運営責任者の出席によりミーティングを開催する。チーム代表者は、参加申込書に記載したフィールド及びゴールキーパーのユニフォーム正・副を持参すること。チーム代表者がミーティングに出席しなかった場合、または連絡無く遅刻した場合は棄権とする。帯同審判員についても割り当てられた試合のミーティングに必ず出席すること。（帯同審判員が遅刻した場合も棄権とする）
3. ユニフォームについて
今大会において、使用できるユニフォームは、日本サッカー協会制定のユニフォーム規定に則ったユニフォームとする。胸番号の表示ないユニフォーム及び紺や黒の審判と類似した色彩のユニフォームについては、使用できないので特に注意すること。**広告掲示をしている場合は必ず申請承認書類を提出すること。**
4. 競技者の用具チェック
競技者は、キックオフ7分前に本部前に集合して、審判員より用具の点検を受けること。競技者が、認められていない危険な用具や装身具を身につけている、あるいは使用している場合、それを取り除かなければ試合には出場できない。
5. 戦術的指示
戦術的指示は、テクニカルエリア内から、その都度ただ一人伝える事ができる。必要な場合は通訳の同行を認める。
6. 競技者の負傷・治療
競技者が負傷して主審が競技を停止した場合、主審の承認を得てからチーム関係者2名のみがピッチ内に入る事ができる。そのチーム関係者は負傷の程度を判断する事と、負傷者のピッチからの搬出を手配する事だけにピッチに入る為、ピッチ内での治療は認められない。
7. 競技者の交替
交替によって退く競技者は、主審の承認を得た後、近くの境界線からピッチの外に出る。交替要員は、退く競技者がピッチの外に出た後、試合の停止中に主審の承諾を得てハーフウェイラインの所よりピッチに入る。
8. 競技者の飲水
競技者の試合中の飲水は、ボールがアウトオブプレー中にタッチラインとゴールライン上において認められる。**新型コロナウイルスの感染対策として、同じボトルを共有しないこと。そのため、飲水タイムを設けることとする。**
9. ウォーミングアップ
交替要員のウォーミングアップは、競技場ごとに指定された場所にてビブス等を着けて、ボールを使用しないで行う。
10. ベンチ入り人数
ベンチに入る事ができるのは、交替選手7名と役員5名（監督・コーチ・ドクター・マネージャー・通訳）の最大で12名とする。（交替要員はビブス等を着用のこと）

7. ユニフォーム

- (1) 日本サッカー協会制定のユニフォーム規定によるが、今大会の運用については下記のとおりとする
 - ① 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - ② 正・副の2色については明確に異なる色とする。
 - ③ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - ④ 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (2) 参加申込後のユニフォームの色彩の変更及び背番号の変更は認めない。
- (3) 背番号は必ず、参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。
- (4) ユニフォームに広告を掲示しているチームは、申請書類・承認された書類を提出すること。なお申請していない場合には、そのユニフォームを着用して試合を行うことを認めない。